

## 過去の受賞者（直近5年分）

| 年               | 受賞者氏名                 |   |
|-----------------|-----------------------|---|
| 令和6年<br>(2024年) | うえみ たかお<br>上見 孝男 氏    | <p>えさん漁業協同組合代表理事組合長などとして、製氷施設や蓄養施設、コンブ種苗生産施設の整備などに取り組み、漁家経営の安定と漁業者の組織基盤強化を図るなど、地域の水産業の振興発展に大きく貢献されました。</p> <p>また、渡島管内漁業協同組合長会会長、北海道漁業協同組合長会副議長などとして、渡島管内や北海道全体の水産業の振興発展にも尽力されました。</p> |
| 令和5年<br>(2023年) | さかぐち ゆういち<br>坂口 雄一 氏  | <p>函館市函館消防団長等として、消防団組織の充実に取り組み、防災活動および地域住民の安全確保に大きく貢献されました。</p> <p>また、函館市農業委員、函館市亀田農業協同組合理事や渡島蔬菜農業協同組合理事として、農業の振興発展に寄与されました。</p>  |
|                 | かたぎり やすひろ<br>片桐 恭弘 氏  | <p>公立大学法人はこだて未来大学理事長兼学長等として、大学運営の推進に取り組み、教育水準の向上に大きく貢献されました。</p> <p>また、研究を通じた地域貢献活動に取り組み、地域や企業と連携した学習の充実に努めるなど、地域の活性化や大学の知名度向上にも尽力されました。</p>  |
| 令和4年<br>(2022年) | はやしさき みつひろ<br>林崎 光弘 氏 | <p>平成3年に国内初の認知症グループホームとなる「有料老人ホーム（現 老人グループホーム）シルバービレッジ函館あいの里」を本市内に開設し、認知症グループホームの制度化に大きく貢献されました。</p> <p>また、南北海道グループホーム協会会長などとして地域の認知症介護の環境整備や認知症への理解、グループホームの認知度向上にも尽力されました。</p>      |
| 令和3年<br>(2021年) | たてやま かつひろ<br>館山 勝博 氏  | <p>函館市戸井消防団団長等として、消防団組織の充実に取り組み、防災活動および地域住民の安全確保に大きく貢献されました。</p> <p>また、戸井漁業協同組合理事として、漁業の振興発展に尽力されているほか、函館市戸井地域審議会委員として、地域振興にも注力されました。</p>   |
| 令和2年<br>(2020年) | わたなべ けんいち<br>渡邊 兼一 氏  | <p>函館国際観光コンベンション協会会長などとして、観光客の誘致に尽力され、本市観光と経済の振興発展に貢献されました。</p> <p>また、函館西地区暴力追放運動推進協議会副会長として、暴力団の排除活動にも尽力されました。</p>   |